



産学交流室は、室長、副室長（一般教科、専門学科）、技術長、コーディネータ及び事務職員で構成されており、共同研究など外部資金獲得に関する仕事、企業からの技術相談、展示会出展など、本校教員と企業との橋渡しを中心に活動しています。また、本校は、近畿地区国立高専産学交流活動の拠点校になっており、近畿地区高専の産学官連携活動に関して中心的な存在にあります。そこで、本校産学交流室の取り組みなどを紹介したいと思います。

平成20年度より、本校にはコーディネータが配置されています。そして、企業での研究開発、研究企画の経験、人脈などを活用し、地域企業現場の課題解決を通じて教員研究シーズの水準向上を図っています。その結果、企業からの技術相談件数は、平成19年度 104件だったのが平成22年度は263件となっています。また、平成20年度に奈良県と締結した『奈良県と奈良工業高等専門学校との協働連携に関する基本協定』締結に伴い、平成21年度、奈良県内企業と本校教員シーズのマッチングを積極的に進めるためコーディネータを1名増員しています。このように、コーディネータが配置されたことにより、本校産学官連携活動が年々活発になっています。



さらに、平成22年度、奈良県・奈良工業会と協同で、JST(科学技術振興機構)公募『地域産学官共同研究拠点整備事業』に提案機関として参画し、全国高専で唯一採択されました。共同研究拠点は、なら産業活性化プラザ内に「なら産学官クリエイトセンター」を設立し、研究設備を整備し産学官の連携で県内のものづくり産業の活性化を目指して開所しています。大学工学部が存在しない奈良県にとって、奈良高専は地域の中小企業の“ものづくり支援”の要であり、期待も大きい存在となっています。

地域との交流に関しては、大和郡山市(商工観光課)との交流を深め「元気城下町PICAメッセ」、平成15年にスタートした「元気城下町クラブ」に毎年多くの教職員が参加し、会合での交流の中から技術相談が生まれています。また、大和高田市との交流では、大和高田市・橿原市・葛城市が主催した「ものづくりメッセ」に参加しています。

奈良県外の活動では、大阪府八尾市との繋がりとして、八尾



市異業種交流会、八尾市中小企業サポートセンター及び八尾ものづくり協議会との交流を深めるとともに、ビジネスマッチング博(八尾市産業博)、八尾ロボットフェアに参加しています。さらに、大阪府東大阪市との繋がりとしては、平成19年度に設置したクリエイション・コア東大阪の奈良高専リエゾンオフィスを技術相談等の窓口として活用し、多くの技術相談が生まれています。

また、本校は京阪奈地区中小企業技術者のための人材育成事業として、「元気なら組み込みシステム技術者の養成」のベーシックコース、アドバンスコース、ペリフェラルズコースの講義をクリエイション・コア東大阪、奈良女子大学、なら産学官クリエイトセンター等で実施しています。さらに、平成18年度～20年度まで近畿経済産業局に採択された「高専を活用した中小企業の人材育成事業」の後を受け、平成21年、22年と継続して「奈良高専を活用したものづくり担い手育成事業」が奈良県中小企業支援センターと共同で出願し採択され、初級技能者向けの講座として、「機械材料と金属加工の基礎」「機械工作基礎実習」「力学の基礎」「切削額および塑性力学の基礎と実験」の4講座を本校で実施しています。

今後も引き続き産学官連携を推進していきたいと思っておりますので、皆様のご理解ご支援を宜しくお願い致します。



奈良工業高等専門学校 産学交流室  
TEL 0743-55-6173 FAX 0743-55-6010  
E-mail syomu@jimmu.nara-k.ac.jp